

農村ニュース

フジイ

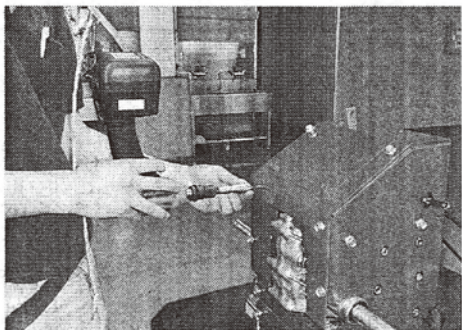
レンチを全て更新

職場環境改善の一環

フジイコーポレーション―藤井大介社長、新潟県燕市小池285―は、今までも増した品質向上を目指すべく、いろいろな施策を展開しているが、その中の一環として特に力を入れているのが職場環境の改善。6月9

日には機械事業製造工場内の空調設備を完成させ(本紙6月16日付既報)、従業員から、「働く環境が整い、能率もアップした」とよろこばれたが、今回はそれに続いてインパクトドライバ

・レンチをすべて更新した。従来は数社のインパクトを使用していたが、今回、1社の最新シリーズに統一したことで管理が徹底でき、更に作業性も向上、対象を選ばず、より確実な締め付けが可能となった。また、今回の更新ではエアールンチ



最新のインパクトドライバー・レンチ

からの置換えも一部行っており、コンプレッサー

の省エネにつなげるほか、締付トルクの見える化を行い、一層締付管理が徹底できることになった。
来年、創業130周年を迎える同社ではいろいろな

面での改革・改善を進め